

関係各位

2025年4月23日

株式会社レボインターナショナル
京都市下京区綾小路通烏丸東入竹屋之町 252 番地 1
四条烏丸アーバンライフビル 101

世界初の独自製法による SAF 製造パイロットプラントが完成

— 愛知工場にて竣工式を開催 —

この度、愛知県田原市に新たに建設した「愛知工場」にて、『RECO（廃食用油）』を原料とする『C-FUEL（バイオディーゼル燃料）』および SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の製造設備が完成したことを受け、2025年4月18日（金）に竣工式を執り行いました。

本設備では、世界で初めてとなる当社独自の特許製法による SAF の生産を 2025年4月より本格的に開始しました。



【竣工式の様子（ご来賓・当社代表によるテープカット）】

竣工式には、田原市長 山下 政良様をはじめ、関係省庁、地域自治体、企業関係者の皆様にご臨席いただき、完成を祝いました。当社代表の越川は、「持続可能な資源循環モデルをここ愛知から発信し国内外に通用する技術革新と環境貢献の両立を実現していきたい」との決意を述べました。

また、式典後には祝賀会も開催され、地域の皆様やパートナー企業とともに、国産 SAF の未来に向けた意見交換が活発に行われました。



【愛知工場 製造設備】

【革新的な SAF 製造技術とグローバル展開】

当社独自の SAF 製造技術（現在 ASTM にて新 Annex 申請中）は、従来の高温高压製法の大型プラントとは異なり、中小規模プラントでの製造が可能です。これにより、少ない投資で地産地消型の SAF 製造・供給体制を実現でき、世界市場においても柔軟で持続可能な SAF ソリューションを提供することが可能です。

今後取得を予定している ASTM 新 Annex の認証により、当社製 SAF は世界中の航空機で使用可能となり、グローバルな CO₂削減と SDGs 貢献をさらに加速していくことが期待されます。

【地域密着型の資源循環モデルへ】

愛知工場では、『C-FUEL（バイオディーゼル燃料）』の日量 30,000 ℓ、SAF は 600 ℓ の生産能力を有しています。今後は、東三河地域を中心とした「地産地消型の資源循環」を推進し、『RECO（廃食用油）』の安定調達体制を構築します。

『RECO（廃食用油）』は当社が「再生可能な資源」として定義した重要な資源であり、全国の飲食店や一般家庭から引取りされたものを原料として活用します。

【愛知工場 概要】

所在地：愛知県田原市緑が浜二号 1-47

竣工：2025 年 2 月

生産能力：

- ・ C-FUEL（日量）30,000 ℓ
- ・ SAF（日量）600 ℓ（当社独自製法、ASTM 新 Annex 申請中）

【株式会社レボインターナショナル 概要】

設 立：1999年10月

本 社：京都市下京区綾小路通烏丸東入竹屋之町 252 番地 1

代表者：代表取締役 CEO 越川 哲也

資本金：4 億 9997 万 5000 円（令和 7 年 3 月 28 日現在）

事業内容：バイオディーゼル・SAF の研究開発・製造・販売、RECO（廃食用油）の回収・再資源化など

従業員数：105 名／国内拠点数：12 拠点（うち 7 拠点は回収拠点）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レボインターナショナル

運営管理部総務課 広報：奥村、森谷、河野

広報 TEL：075-585-2289 /夜間 TEL：080-6518-4441

本社：075-353-2277

Mail：revo-pr@e-revo.jp